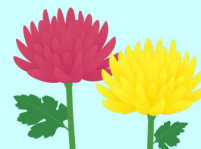


六郷

～元気に輝いて～



令和6年度
第74号

2024.11.29

子どもたちの経験を深める、外部講師を招いての学習活動㉘

【3年「ハリザッコ」の学習《講師：〇〇〇〇さん（水環境マイスター）》】

22日に3年生は、美郷町の水環境マイスターである〇〇〇〇さん（〇〇在住）から、六郷の清水に生息するイバラトミヨ（ハリザッコ）について学びました。

3年生は、学校の近くの紙漉座清水に行って実際に清水を泳ぐハリザッコを観察することで、ハリザッコや清水についてもっと詳しく知りたいということから今回の授業となりました。

講師の〇〇さんからは、六郷のハリザッコは、他の場所にはいない貴重な生き物であること、清水周辺の環境の変化や最近の気候の変化によって生息数が激減していることを教えていただきました。身近なところに生息しているハリザッコが、いなくなってしまうかもしれないということを知った子どもたちは、もっとハリザッコや清水のことを学んで、ハリザッコの保全に役立ちたいという気持ちを強くしていました。昔、ハリザッコがたくさんいた頃の様子が、ハリザッコの保全のヒントになるのかもしれませんが。ハリザッコについて、子どもたちが質問してきたら、昔の様子を教えていただければ幸いです。



子どもたちの経験を深める、外部講師から教わる体験活動㉙

【「モルック体験（ゲームクラブ）」（講師：みさぼーたーの方々）】

21日のゲームクラブでは、みさぼーたーの3名の方々をお招きして、モルック体験を行いました。モルックとは、フィンランドで1996年に開発されたもので、地面に立て並べられた複数の木のピンをめがけて、モルックという木の棒を投げ、獲得した点数を競うスポーツです。とても簡単なルールで、誰でも気軽に楽しめるものとなっています。

子どもたちは、みさぼーたーの方からルールについてレクチャーをしていただいたあと、実際にモルック体験に取り組みました。最初こそ、投げたモルックがピンにうまくあたらず苦戦していましたが、すぐに距離感覚をつかみ、ピンにヒットさせることができるようになりました。終盤には、目的の点数を得るために特定のピンをダイレクトにねらう戦略をとる子どもも出てくるなど、一時間の体験でゲームを楽しむことができるまで上達することができました。

チームでお手軽にゲームが楽しめるモルック。学年・学級でのレクリエーションなどでも取り入れてもおもしろいのではないかと感じました。

